

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年11月9日

【四半期会計期間】 第72期第2四半期(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

【会社名】 株式会社ミツバ

【英訳名】 MITSUBA Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 長瀬 裕一

【本店の所在の場所】 群馬県桐生市広沢町一丁目2681番地

【電話番号】 (0277)52 - 0111(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 武 信幸

【最寄りの連絡場所】 群馬県桐生市広沢町一丁目2681番地

【電話番号】 (0277)52 - 0111(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 武 信幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第71期 第2四半期 連結累計期間	第72期 第2四半期 連結累計期間	第71期
会計期間		自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高	(百万円)	161,332	159,266	333,232
経常利益	(百万円)	9,827	7,045	19,619
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	5,491	2,178	8,518
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	5,512	11,029	1,382
純資産額	(百万円)	97,997	78,045	90,307
総資産額	(百万円)	323,793	296,149	314,859
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	122.69	48.67	190.31
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	25.7	21.7	24.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	15,654	14,262	29,276
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	10,850	10,175	20,027
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	4,469	1,029	1,398
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	67,640	66,821	67,252

回次		第71期 第2四半期 連結会計期間	第72期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	61.16	45.39

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策を背景として企業収益や雇用情勢が改善する等、緩やかな景気の回復傾向が続きました。しかし、為替相場が円高傾向で推移していることから、企業収益の悪化や設備投資の伸び悩みなどが見られ、景気の足踏みが続いております。一方、世界経済は、中国をはじめとする新興国の景気減速があったものの、米国の景気は回復が続き、欧州も英国のEU離脱による影響を軽微に抑え、緩やかに景気回復をしました。

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は159,266百万円（前年同期比1.3%減）となりました。北米及び中国の販売は好調を維持し現地通貨では増収となりましたが、円高による為替換算の影響で減収となりました。連結営業利益は、メキシコ及びハンガリー拠点の業績改善で、10,667百万円（前年同期比7.9%増）、連結経常利益は、為替差損の発生で7,045百万円（前年同期比28.3%減）、法人税等と非支配株主に帰属する四半期純利益を控除し、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,178百万円（前年同期比60.3%減）となりました。

セグメント情報は次のとおりです。

輸送用機器関連事業は、北米の自動車生産が好調を維持しました。一方、日本は自動車生産台数が回復基調にあるものの、新車販売台数が低調に推移したため、売上高は152,924百万円（前年同期比1.7%減）となり、セグメント利益は10,342百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

情報サービス事業は、公共分野や民間分野の受注拡大に取り組み、売上高は5,885百万円（前年同期比1.9%増）となり、セグメント利益は84百万円（前年同期比47.5%減）となりました。

その他事業は、売上高は1,712百万円（前年同期比54.7%増）、セグメント利益は230百万円（前年同期比253.1%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計は、296,149百万円（前連結会計年度末314,859百万円）となり、18,709百万円減少しました。流動資産は177,542百万円となり15,008百万円減少し、固定資産は、118,607百万円となり3,700百万円減少しました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が4,938百万円減少したことが主な要因です。固定資産は、機械装置及び運搬具が4,749百万円減少したことが主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、218,104百万円（前連結会計年度末224,551百万円）となり、6,446百万円減少しました。流動負債は、123,811百万円となり5,681百万円減少し、固定負債は94,292百万円となり765百万円減少しました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が4,038百万円減少したことが主な要因です。固定負債は、長期借入金が393百万円減少したことが主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、78,045百万円（前連結会計年度末90,307百万円）となり、12,262百万円減少しました。これは為替換算調整勘定の減少が主な要因です。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ431百万円減少し66,821百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、14,262百万円（前年同期は15,654百万円）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益6,549百万円と、減価償却費7,273百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、10,175百万円（前年同期は10,850百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出9,874百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、1,029百万円（前年同期は4,469百万円の獲得）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出1,207百万円です。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、6,756百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	150,000,000
計	150,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	45,581,809	45,581,809	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	45,581,809	45,581,809		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成28年7月1日～ 平成28年9月30日		45,581,809		9,885		16,597

(6) 【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)横浜銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託 銀行(株))	神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目1 番1号 (東京都中央区晴海一丁目8番12号晴海アイ ランドトリトンスクエアオフィスタワーZ 棟)	2,199	4.82
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	2,026	4.44
日産自動車(株)退職給付信託口座 信託 受託者 みずほ信託銀行(株) 再信託受 託者 資産管理サービス信託銀行(株)	東京都中央区晴海一丁目8番12号晴海アイ ランドトリトンスクエアオフィスタワーZ 棟	1,742	3.82
ミツバ取引先企業持株会	群馬県桐生市広沢町一丁目2681番地 株式会社ミツバ内	1,674	3.67
本田技研工業(株)	東京都港区南青山二丁目1番1号	1,662	3.64
(有)サンフィールド・インダストリー	群馬県桐生市巴町二丁目1890番地18	1,550	3.40
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	1,423	3.12
セコム損害保険(株)	東京都千代田区平河町二丁目6番2号	1,343	2.94
第一生命保険(株) (常任代理人 資産管理サービス信託 銀行(株))	東京都千代田区有楽町一丁目13番1号 (東京都中央区晴海一丁目8番12号晴海アイ ランドトリトンスクエアオフィスタワーZ 棟)	1,296	2.84
三菱UFJ信託銀行(株) (常任代理人 日本マスタートラスト 信託銀行(株))	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 (東京都港区浜松町二丁目11番3号)	1,038	2.27
計		15,956	35.01

(注) 上記日本マスタートラスト信託銀行(株)及び日本トラスティ・サービス信託銀行(株)の所有株式数は、全て信託業
務に係る株式数であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 822,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 44,700,600	447,006	
単元未満株式	普通株式 58,309		
発行済株式総数	45,581,809		
総株主の議決権		447,006	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、(株)証券保管振替機構名義の株式が17,500株含まれております。また、「議決権の数(個)」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数175個が含まれております。

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)ミツバ	群馬県桐生市広沢町 一丁目2681番地	822,900		822,900	1.81
計		822,900		822,900	1.81

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新宿監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,663	68,332
受取手形及び売掛金	56,164	51,225
有価証券	200	100
商品及び製品	17,311	14,252
仕掛品	3,459	3,778
原材料及び貯蔵品	22,158	18,637
繰延税金資産	4,671	4,690
その他	20,058	16,603
貸倒引当金	137	78
流動資産合計	192,550	177,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,092	57,375
減価償却累計額	39,526	38,718
建物及び構築物（純額）	19,565	18,657
機械装置及び運搬具	131,412	122,775
減価償却累計額	97,569	93,682
機械装置及び運搬具（純額）	33,842	29,093
工具、器具及び備品	46,856	45,230
減価償却累計額	42,339	41,258
工具、器具及び備品（純額）	4,517	3,971
土地	6,468	6,008
リース資産	4,228	4,340
減価償却累計額	2,044	1,945
リース資産（純額）	2,183	2,394
建設仮勘定	8,989	10,772
有形固定資産合計	75,567	70,899
無形固定資産		
ソフトウェア	3,335	3,344
ソフトウェア仮勘定	1,923	2,493
その他	1,877	1,576
無形固定資産合計	7,135	7,415
投資その他の資産		
投資有価証券	25,088	24,834
長期貸付金	2,578	3,327
繰延税金資産	1,044	923
長期前払費用	426	594
退職給付に係る資産	8,204	8,526
その他	2,422	2,247
貸倒引当金	159	160
投資その他の資産合計	39,605	40,293
固定資産合計	122,308	118,607
資産合計	314,859	296,149

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,728	27,689
短期借入金	55,144	55,541
未払金及び未払費用	24,344	25,637
未払法人税等	1,362	1,005
賞与引当金	4,498	4,384
役員賞与引当金	55	51
製品保証引当金	2,510	2,099
損害補償損失等引当金	2,145	2,145
その他の引当金	140	468
その他	7,562	4,788
流動負債合計	129,493	123,811
固定負債		
長期借入金	82,141	81,747
長期未払金	5,785	5,584
繰延税金負債	3,075	2,836
退職給付に係る負債	1,419	1,478
その他	2,635	2,645
固定負債合計	95,058	94,292
負債合計	224,551	218,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,885	9,885
資本剰余金	15,598	15,595
利益剰余金	47,735	49,108
自己株式	600	601
株主資本合計	72,618	73,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,350	1,795
為替換算調整勘定	1,785	11,035
退職給付に係る調整累計額	740	511
その他の包括利益累計額合計	3,395	9,752
非支配株主持分	14,293	13,810
純資産合計	90,307	78,045
負債純資産合計	314,859	296,149

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	161,332	159,266
売上原価	137,676	133,107
売上総利益	23,656	26,158
販売費及び一般管理費	13,772	15,491
営業利益	9,883	10,667
営業外収益		
受取利息	281	235
受取配当金	243	277
持分法による投資利益	558	340
その他	477	401
営業外収益合計	1,560	1,255
営業外費用		
支払利息	647	668
為替差損	557	3,765
その他	411	444
営業外費用合計	1,616	4,877
経常利益	9,827	7,045
特別利益		
固定資産売却益	2	291
投資有価証券売却益	28	-
その他	2	11
特別利益合計	32	303
特別損失		
固定資産除却損	319	158
減損損失	-	5
取引調査関連損失	241	523
その他	176	111
特別損失合計	738	799
税金等調整前四半期純利益	9,122	6,549
法人税等	2,424	3,134
四半期純利益	6,697	3,415
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,206	1,236
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,491	2,178

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	6,697	3,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	607	563
為替換算調整勘定	435	13,685
退職給付に係る調整額	116	239
持分法適用会社に対する持分相当額	25	435
その他の包括利益合計	1,185	14,444
四半期包括利益	5,512	11,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,444	10,969
非支配株主に係る四半期包括利益	1,067	59

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,122	6,549
減価償却費	7,508	7,273
受取利息及び受取配当金	525	513
支払利息	647	668
持分法による投資損益(は益)	558	340
有形固定資産売却損益(は益)	8	281
売上債権の増減額(は増加)	701	2,964
たな卸資産の増減額(は増加)	2,917	866
仕入債務の増減額(は減少)	1,092	3,903
その他	399	2,714
小計	19,129	17,877
利息及び配当金の受取額	528	512
利息の支払額	650	665
法人税等の支払額	3,352	3,461
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,654	14,262
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	8,822	9,874
有形固定資産の売却による収入	368	1,309
投資有価証券の取得による支出	370	52
貸付けによる支出	946	1,620
貸付金の回収による収入	311	1,173
その他	1,391	1,111
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,850	10,175
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	2,644	1,955
長期借入れによる収入	16,805	1,725
長期借入金の返済による支出	11,511	1,207
社債の償還による支出	36	-
配当金の支払額	626	805
非支配株主への配当金の支払額	415	472
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	1,540	1,385
その他	851	838
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,469	1,029
現金及び現金同等物に係る換算差額	747	3,488
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	8,524	431
現金及び現金同等物の期首残高	59,115	67,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,640	66,821

【注記事項】

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入等に対して、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
(株)ミツバアビリティ	1,200百万円	(株)ミツバアビリティ	1,200百万円
ミツバ・テクラス・ルス・エル・エル・シー	30 (18百万ルーブル)	ミツバ・テクラス・ルス・エル・エル・シー	24 (15百万ルーブル)
計	1,230	計	1,224

上記のうち外貨建保証債務等は、決算日の為替相場により円換算をしております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
運搬費保管料	4,068百万円	3,603百万円
役員報酬・給料・賞与	3,377	3,278
賞与引当金繰入額	327	524
退職給付費用	24	146
設備費	954	949
製品保証引当金繰入額	344	243

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
現金及び預金勘定	69,054百万円	68,332百万円
有価証券勘定	200	100
預入期間が3か月を超える定期預金	1,513	1,511
価値変動のリスクのある有価証券等	100	100
現金及び現金同等物	67,640	66,821

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月8日 取締役会	普通株式	626	14	平成27年3月31日	平成27年6月4日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月11日 取締役会	普通株式	805	18	平成28年3月31日	平成28年6月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	155,278	5,065	988	161,332	-	161,332
セグメント間の内部売上高 又は振替高	288	711	118	1,119	1,119	-
計	155,567	5,777	1,107	162,452	1,119	161,332
セグメント利益	9,650	160	65	9,876	6	9,883

(注) 1. セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	152,617	5,052	1,596	159,266	-	159,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	307	833	115	1,256	1,256	-
計	152,924	5,885	1,712	160,522	1,256	159,266
セグメント利益	10,342	84	230	10,657	10	10,667

(注) 1. セグメント利益の調整額10百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	122円69銭	48円67銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	5,491	2,178
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	5,491	2,178
普通株式の期中平均株式数(千株)	44,758	44,758

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

(偶発債務)

当社グループは、一部の自動車部品の取引に関する米国独占禁止法等への違反により損害を被ったとして、米国の自動車ディーラー及び最終購入者等から損害賠償を求める集団民事訴訟(クラスアクション)の提起を受けております。

なお、本件訴訟が当社グループの今後の業績に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月9日

株式会社ミツバ
取締役会 御中

新宿監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 末 益 弘 幸 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田 中 信 行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミツバの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミツバ及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。